



子ども家庭支援ソーシャルワーク研修

～困難な家族状況・危機状況に暮らす子どもへの支援～

貧困や疾病、障がい、介護、地域からの孤立等、多問題を抱える家族の中で暮らす子どもが大勢います。子どもが家事や介護を担い、アルバイトで家計を支えている場合も少なくありません。この研修では、危機的状況に暮らす子どもと家族を支援するために、アセスメントと支援方法を学び、ソーシャルワーカーの実践を通して支援の課題を考えます。

1. 日 時 2022年2月12日（土）13:00～16:30
2. 開催方法 Zoomによるオンライン開催
3. 対象者 児童相談所、児童福祉関係職員、スクールソーシャルワーカー、精神保健福祉に従事する方、子どもに関連する精神医療等に関心のある方
4. 参加費 2000円
埼玉県社会福祉士会・埼玉県精神保健福祉士協会 会員1500円
5. 定 員 50名（先着順）定員になり次第締め切ります。

〈研修プログラム〉

時 間	内 容
12:45～13:00	受付
13:00～15:00	講演「困難な家族状況・危機状況に暮らす子どもと家族への支援」 ～子どもまのころの発達と精神科医療の視点から～ 講師 大正大学心理学科教授（医師） 近藤 直司 氏
15:15～16:15	講演（録画配信）「ヤングケアラーの実態と施策の方向」 講師 埼玉県福祉部地域包括ケア課 穴戸 幸典 氏

講師プロフィール；近藤 直司氏

山梨県立精神保健福祉センター所長、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長等を経て現職。著書「医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック」「ひきこもりケースの家族援助—相談・治療・予防」「こころの医学入門 医療・保健・福祉・心理専門職をめざす人のために」「青年のひきこもり・その後～包括的アセスメントと支援の方法論」、「ひきこもり問題を講義する～専門職の相談支援技術を高めるために」他多数。専門職の教育研修等でも幅広く活躍されています。

主催：公益社団法人埼玉県社会福祉士会

共催：埼玉県精神保健福祉士協会

6 申込方法

メールにて以下の申込専用メールアドレスにお申込みください。

(申込専用メールアドレス) k-info@saitama1717csw.jp

(メール件名) 子ども家庭支援委員会研修申込み

(メール本文に次の事項を記載してください。)

ア お名前

イ ふりがな

ウ (会員の方のみ)

社会福祉士会会員番号 または 精神保健福祉士会会員番号

エ 所属(勤務先)

オ 電話番号(日中連絡が取れるもの)

カ メールアドレス

キ その他(配慮が必要な方はご記入ください。)

7 締め切り 2022年1月26日(水)

8 参加決定 参加者には1月27日以降、申込のメールアドレス宛に、参加費の支払い方法についてご連絡します。連絡がない場合は、お問い合わせください。参加費の受領確認後、Zoomの招待ID等をお知らせします。

申込が定員を超過するなど、お申し込みをお受けできない場合のみ事前に連絡を差し上げます。

※オンライン(Zoom)受講において、本会ホームページの2021年度研修に掲載している「オンライン研修の受講方法」をご覧ください。

※本研修は、日本社会福祉士会生涯研修制度の単位になります(0.1単位)

※参加費納入後のキャンセルや受講者の機器の故障などによる不参加の場合には、参加費の返金はできません。

※本講座の録画・録音・撮影、および詳細内容のSNSへの投稿等は固くお断り致します。

(お問合せ先) 公益社団法人 埼玉県社会福祉士会 事務局 電話 048-857-1717

(研修会当日の連絡先) 080-4624-8106